

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。  生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。	①新学習指導要領の趣旨を踏まえ、新教育課程の検討を進める。  ②生徒が主体的に学べるための授業研究を行う。  ・分かりやすい授業の実現を目指す。	①新学習指導要領についての情報収集を行い、グループや教科で情報の共有を行う。  ②多様な生徒に通信制の学びの特性を理解させながら学習への取組を継続させる手立てについて検討する。  ・メディアを活用した学習についての検討を進める。  ・授業研究を通して、取り組みやすいレポートを教科横断的に研究する。	①計画的にグループ会議や教科会を開催して、新学習指導要領についての理解を深めることができたか。  ②具体的な手立てを教科会や研究協議会などで共有することができたか。  ・メディアを活用した学習の年間計画への位置づけなどについて検討できたか。  ・研究の成果がレポートに生かされたか。					
2 生徒指導・支援	多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。  学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。	①外部の関係機関の人材と連携し、教育相談を推進する。  ・学校いじめ防止基本方針に基づく取組を行う。  ②生徒が主体的に活動する環境づくりを進める。	①課題を抱えている生徒を早期に把握し、SCやSSWに早期につなげる工夫をする。  ・いじめの未然防止、早期発見のため、相談しやすい環境づくりのため、アンケートの活用に取り組む。  ②現在ある生徒の活動の場を保証し、これからの活動の場を増やしていく。	①SCやSSWにつながった生徒の数とその後の経過を検証する。  ・年2回のアンケートを実施する。  ②学校行事への参加者が増えたか。活動実績や、大会への参加などが増えたか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。	①キャリアサポート体制の充実を図る。	①進路相談支援員等を活用しながら、キャリアサポート体制を充実させる。 ・卒業予定年度の在校生に確実に情報を伝え、多様な進路があることを知らせる。 ・外部教育力を活用しながら、将来を見通して活動する意識を持たせる。	①相談した生徒数が増えたか。きめ細かい対応ができたか。 ・就職や進学にチャレンジする生徒が増加したか。 ・生徒の自立する意欲を高め、活動に繋げることができたか。					
4	地域等との協働	地域に理解され、信頼される活動を推進する。	①地域の学校等と連携を推進し、地域貢献活動に積極的に取り組む。 ・防災活動について地域との協働を図る。  ②教育活動の情報発信の充実を図る。	①ホームルームを使って通学路清掃等地域貢献活動を積極的に行う。 ・地域と連携・協議して「避難所初動マニュアル」を整備する。  ②ホームページの充実や学校説明会等で通信制の活動をより多く発信し、通信制への理解を図る。	①多くの生徒が参加して通学路清掃等の地域貢献活動を行えたか。 ・厚木市、自治体等の連携・協議をして「避難所初動マニュアル」を整備できたか。  ②通信制ホームページの年間カウンター2万人を越えたか。					
5	学校管理 学校運営	安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。  フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。	①学校運営マニュアル等の内容の充実を図る。 ・三課程で連携実施する防災訓練を定着させる。  ②ICT機器の利活用により、学校運営の円滑化をさらに推進する。	①学校防災活動マニュアルの作成と職員への周知を徹底する。 ・三課程が協力して、教員主導でなく生徒主体の実践的な防災訓練を計画実施する。  ②校内ポータルサイトの活用を進め、教室・施設・設備・機器等の使用状況に関する三課程の情報共有を図る。	①学校運営マニュアルが職員に周知されたか。 ・三課程が協力して、生徒が主体的かつ迅速に避難できたか。  ②校内ポータルサイトの活用状況に関するアンケートを実施する。					